ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
M212W405	専門職連携演習 (Interprofessional practice)	統合分野	対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
必須	1	4	医学部	後期	木1,木2	日本語		複数(共同)

担当教員	氏名　幸松美智子　脇幸子　大野夏稀　小野光美　阿部世史美 E-mail　yukimats@oita-u.ac.jp　内線　5075
授業の概要	本科目は、専門職連携に必要な知識・技術の獲得に焦点をあてた専門職連携教育（IPE : Interprofessional Education）の一環である。この授業を通じて、自己の専門性（看護）の確立を行う。また、他専門職を尊重し協働するための知識と技術の修得をめざす。合同演習では医学科（医師）、福祉健康科学部の理学療法コース（理学療法士）、社会福祉実践コース（社会福祉士、精神保健福祉士）、心理学コース（認定心理士）の学生と事例検討を行い、相互に学び合いながら、専門職連携の意義について探求する。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	これまでの学びや実習体験から専門職種連携の意義について考察し、説明することができる		○						
目標2	これまでの学びや実習から専門職連携における看護師の役割について考察し、説明することができる		○						
目標3	専門職連携の基盤となる自己の専門性（看護）について考察し、説明することができる		○						
目標4	他の専門職と協働し、その専門性を尊重するために、他職種の専門性（教育的背景や専門分野等）を説明することができる		○						
目標5	事例に対し、適切なアセスメントや看護計画立案ができる		○		○				
目標6	合同演習の場で、看護の専門職としての意見を表明し、患者ケアの質向上が図れる		○	○	○				
目標7	合同演習の場で、他専門職の意見を尊重するとともに、ケアの質向上のための意見交換ができる		○	○	○				
目標8	合同演習の場で、リーダーシップ・メンバーシップが発揮できる			○					
目標9	合同演習の学びを踏まえて、看護の専門性を再考することができる							○	
目標10	専門職連携における看護職の役割や責務を明確にすることができる							○	
	各DPへの関連度（計10）		1	4	4			1	

授業の内容	
1	専門職連携の意義（講義での学びや実習でみた専門職連携を振り返りからの考察）
2	他の専門職の専門性（教育背景や強み、業務内容、期待されている役割等）
3	事例に関する看護過程の展開（アセスメント、問題抽出、看護計画立案）
4	合同演習に向けた準備（未解決の問題に対し、どの専門職と協働するのか、依頼するのかを検討）
5	合同演習（他専門職との合同カンファレンス）
6	合同演習（カンファレンス結果のプレゼンテーション）
7	合同演習の振り返り（看護の専門性を再考する）
8	合同演習の振り返り（今後、修得しべき知識や技術の検討）
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

アクティブラーニング					
	A:知識の定着・確認	○	学生自身の臨地実習での経験や講義での学びを素材に、グループワークを行い、専門職連携の意義についてまとめられるようにする	その他の工夫	合同演習における他専門職の専門性を活かした事例検討を通じ、他専門職の専門性への理解を深めるとともに、看護の専門性を改めて探求することができるようにグループワークや課題レポートを提供している
	B:意見の表現・交換	○			
	C:応用志向	○			
	D:知識の活用・創造	○			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	これまでの学びから看護の専門性を明確化する。また、他専門職への理解を深めておく 演習の事例を看護の視点で分析し、介入策を検討する（15時間）
	事後学修	科目を通じて学んだことから①看護の専門性を再考する、②明らかとなった自己の課題から、専門職連携に必要な知識・技術を再考する（15時間）
	想定時間合計	30

教科書	なし
参考書	適宜紹介する

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	グループワークへの取り組み	15%	○	○	○	○	○					
	看護計画立案とプレゼン準備	15%	○	○	○	○	○					
	合同演習への取り組み	20%					○	○	○	○		
	課題レポート	50%									○	○

注意事項	
備考	
リンク	URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	幸松美智子（看護師）、他4名